



プログラム可能レポート

- [カタログ](#), on page 1

カタログ

カタログを使用すると、Cisco DCNM でインストールまたは有効にしたすべてのアプリケーションを表示できます。Cisco DCNM をインストールすると、ほとんどのアプリケーションはインストールされず、デフォルトで動作します。

Cisco DCNM 展開に基づいて、次のアプリケーションが表示されます。

- Health Monitor (2.1)
- PTP Monitoring (1.1)
- Kibana (2.0)
- Programmable report (1.1.0)
- Elastic Service (1.1)
- Compliance (4.0.0)
- Debug Tools (2.1)
- IPAM Integrator (1.0)
- Endpoint Locator (2.1)
- Kubernetes Visualizer (1.1)
- vmmplugin (4.1)



Note デフォルトで起動されたアプリケーション、または DCNM にインストールされたインフラストラクチャ サービスを使用するアプリケーションは、デフォルトで動作します。

Web UI を介して App Center から追加のアプリケーションをインストールできます。

Cisco DCNM Web UIからのアプリケーションのダウンロード、追加、起動、停止、および削除の手順については、[アプリケーションのインストールと展開](#)を参照してください。

プログラム可能レポート

プログラム可能レポートアプリケーションでは、Python 2.7 スクリプトを使用してレポートを生成できます。レポートジョブは、レポートを生成するために実行されます。各レポートジョブは複数のレポートを生成できます。特定のデバイスまたはファブリックに対して実行するレポートをスケジュールできます。これらのレポートは、デバイスに関する詳細情報を取得するために分析されます。

レポート テンプレート タイプは、プログラム可能なレポート機能をサポートするために使用されます。このテンプレートには、[アップグレード (UPGRADE)] と [汎用 (GENERIC)] の2つのテンプレート サブタイプがあります。レポート テンプレートの詳細は、「[レポート テンプレート](#)」を参照してください。レポート生成を簡素化するために Python SDK が提供されています。この SDK は DCNM にバンドルされており、レポートを生成するための API を提供します。API の詳細については、「[レポート API](#)」を参照してください。

RBAC サポート

- 管理者またはネットワーク オペレータは、レポートを作成できます。
- ネットワーク オペレータは、他の管理者やオペレータによって作成されたレポートを表示できます。
- ネットワーク オペレータは、管理者や他のネットワーク オペレータによって作成されたレポートを削除/編集/再実行することはできません。
- 管理者は、レポートを作成したユーザーに関係なく、レポートを表示および削除できます。
- ファブリックとデバイスの関連付けにより、管理者はネットワーク オペレータを含む他のユーザーが作成したレポートを編集できません。



(注) Jython テンプレートは 100k バイトの最大ファイルサイズをサポートします。いずれかのレポート テンプレートがこのサイズを超えると、Jython の実行が失敗する可能性があります。

プログラム可能レポート アプリを起動するには、Cisco DCNM Web UI で、[アプリケーション (Applications)] を選択します。[カタログ (Catalog)] タブで、[プログラム可能レポート (Programmable report)] をクリックしてアプリケーションを起動します。[レポート (Reports)] ウィンドウが表示されます。このウィンドウには、[ユーザー定義 (User Defined)] と [内部 (Internal)] の2つのタブがあります。[ユーザー定義 (User Defined)] タブでは、ユーザーによって作成されるレポートジョブが表示されます。レポートジョブの作成については、「[レポートジョブの作成 \(4 ページ\)](#)」どのウィンドウでも、画面の左上にある [ホーム (Home)] アイコンをクリックして、この[レポート

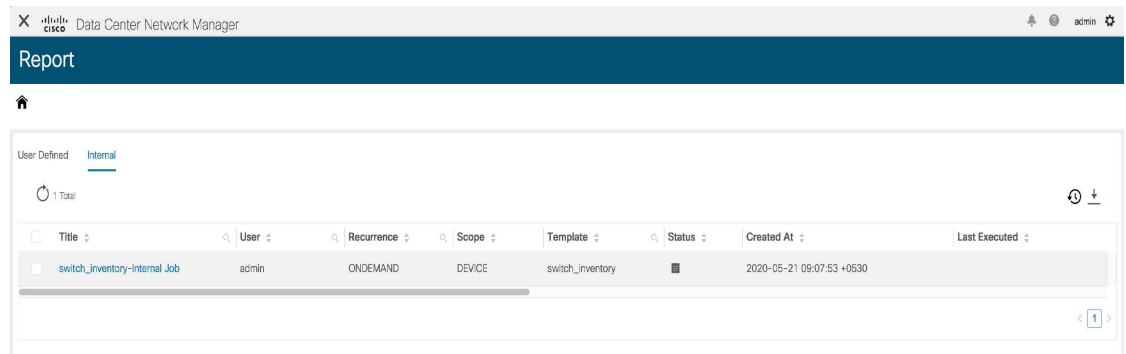
【(Report)】ウィンドウに戻ります。このタブに表示されるジョブは、レポートジョブ情報の作成、削除、編集、再実行、履歴の表示、ダウンロードなどのすべての操作がサポートされています。

Title	User	Recurrence	Scope	Template	Status	Created At	Last Executed
sfp_test	admin	NOW	FABRIC	sfp_report	▲	2020-05-21 09:43:53 +0530	2020-05-21 09:43:55 +0530
sfp_report-test_reRunFabricScope	admin	NOW	FABRIC	sfp_report	▲	2020-05-21 09:29:11 +0530	2020-05-21 09:31:12 +0530
sfp_report-test_checkSummaryFabricScopeadmin	admin	NOW	FABRIC	sfp_report	▲	2020-05-21 09:27:11 +0530	2020-05-21 09:27:12 +0530
sfp_report-test_checkReportByIdFabricScopeadmin	admin	NOW	FABRIC	sfp_report	▲	2020-05-21 09:25:10 +0530	2020-05-21 09:25:12 +0530
sfp_report-test_addReportJobFabricScope	admin	NOW	FABRIC	sfp_report	▲	2020-05-21 09:25:08 +0530	2020-05-21 09:25:10 +0530
switch_inventory-test_reRun	admin	NOW	DEVICE	switch_inventory	■	2020-05-21 09:10:02 +0530	2020-05-21 09:11:07 +0530
switch_inventory-test_checkSummary	admin	NOW	DEVICE	switch_inventory	■	2020-05-21 09:09:02 +0530	2020-05-21 09:09:07 +0530
switch_inventory-test_checkReportById	admin	NOW	DEVICE	switch_inventory	■	2020-05-21 09:08:01 +0530	2020-05-21 09:08:07 +0530
switch_inventory-test_addReportJob	admin	NOW	DEVICE	switch_inventory	■	2020-05-21 09:07:59 +0530	2020-05-21 09:08:05 +0530

フィールド	説明
タイトル (Title)	レポートジョブのタイトルを指定します。
ユーザ	レポート生成を開始したユーザを指定します。
繰り返し	レポートが生成される頻度を指定します。
範囲	レポートの範囲を指定します。レポートはデバイスまたはファブリックに生成可能です。
テンプレート	テンプレート名を指定します。
ステータス	<p>レポートのステータスを指定します。ステータスメッセージが以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> *正常：レポートが正常に生成されました。 *スケジュール済み：レポート生成スケジュールが設定されています。 *実行中：レポートジョブが実行中です。 17-10-2022 11:19 *失敗：1つ以上の選択されたスイッチ/ファブリックでレポートの実行に失敗したか、レポートジョブの実行中に問題が発生しました。 *不明：ジョブの状態を特定できませんでした。
作成時刻	アラームが作成された時刻を指定します。
最終実行	レポートが最後に生成された時刻を指定します。

フィールド	説明
開始日	レポート生成を開始する予定の日付を指定します。
終了日	レポート生成の終了予定日を指定します。

[内部 (Internal)] タブには、DCNM によって作成されたレポートジョブが表示されます。たとえば、[ISSU] ウィザードによって作成された **Pre-ISSU** レポートジョブと **Post-ISSU** レポートジョブは内部ジョブと見なされます。ただし、このタブではレポートジョブの情報とレポートジョブの履歴のみを表示できます。このレポートに依存する DCNM 機能の動作に影響を与える可能性があるため、このタブに表示されているレポートジョブを削除することはできません。



また、Cisco DCNM でプログラム可能レポートアプリケーションを使用する方法を示すビデオを見ることもできます。「[プログラム可能レポート](#)」を参照してください。

レポート ジョブの作成

レポート ジョブを作成するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 [レポートの作成 (Create Report)] アイコンをクリックします。

[レポートの作成 (Create Report)] ウィンドウが表示されます。

Title	User	Recurrence	Scope	Template	Status	Created At
sfp_test	admin	NOW	FABRIC	sfp_report	▲	2020-05-21 09:43:53 +0530
sfp_report-test_reRunFabricScope	admin	NOW	FABRIC	sfp_report	▲	2020-05-21 09:29:11 +0530
sfp_report-test_checkSummaryFabricScopeadmin	admin	NOW	FABRIC	sfp_report	▲	2020-05-21 09:27:11 +0530
sfp_report-test_checkReportByIdFabricScopeadmin	admin	NOW	FABRIC	sfp_report	▲	2020-05-21 09:25:10 +0530

ステップ2 [名前 (Name)] フィールドにレポート ジョブの名前を入力します。

ステップ3 [繰り返し (Recurrence)] の横にある必要なボタンを選択して、レポート ジョブを実行する頻度を指定します。このユース ケースでは、[今すぐ (Now)] を選択します。

Create Report

* Name: test

Recurrence: Now Once Daily Weekly Monthly Periodic Ondemand

繰り返しオプションは次のとおりです。

*今すぐ：レポートは直ちに生成されます

*1回：レポートは指定された時間に1回生成されます。

*毎日：レポートは、開始日と終了日の間の指定された時刻に毎日生成されます。

*毎週：レポートは、開始日と終了日の間に指定された時刻に週に1回生成されます。

*毎月：レポートは、開始日と終了日の間に指定された時刻に月に1回生成されます。

*定期的：レポートは、指定された開始日と終了日の間の期間に定期的に生成されます。レポートの間隔は、分または時間で指定できます。

(注) 定期的な NVE VNI カウンタ レポートを作成する場合は、レポート生成の間隔を 60 分以上に設定する必要があります。間隔が 60 分未満の場合は、エラーメッセージが表示されます。

*オンデマンド：レポートはオンデマンドで生成されます。このレポートは、[レポート (Report)] ウィンドウの [再実行 (Rerun)] アイコンをクリックすることによってのみ生成できます。

(注) 開始日時と終了日時は 24 時間制で表示されます。

ステップ 4 レポートを生成するためにレポート ジョブを実行するデバイスまたはファブリックを指定します。

Create Report

* Name: test

Recurrence: Now Once Daily Weekly Monthly Periodic Ondemand

Device Fabric

Name	Fabric	Serial Number	Ip Address
cat9300-2	Cat9K	FCW2222G0PW	172.29.140.189
N5596-37	NSK	FOX1816G0S9	10.127.117.37
N5648-38	NSK	SSI15470HJ5	10.127.117.38
<input checked="" type="checkbox"/> N9K_41	BGL	FDO222425SE	10.127.117.41
<input checked="" type="checkbox"/> N9K_42	BGL	FDO22240HJP	10.127.117.42

Note: Date&Time are based on server time

Previous Next

ステップ 5 [次へ (Next)] をクリックします。[レポートの作成 (Create Report)] ウィンドウにある [テンプレート (Template)] ドロップダウン リストからテンプレートを選択します。各レポート テンプレートには、デバイスまたはファブリック タグが関連付けられています。

次の事前定義されたテンプレートを使用できます。

デバイス範囲

*switch_inventory

ファブリック範囲

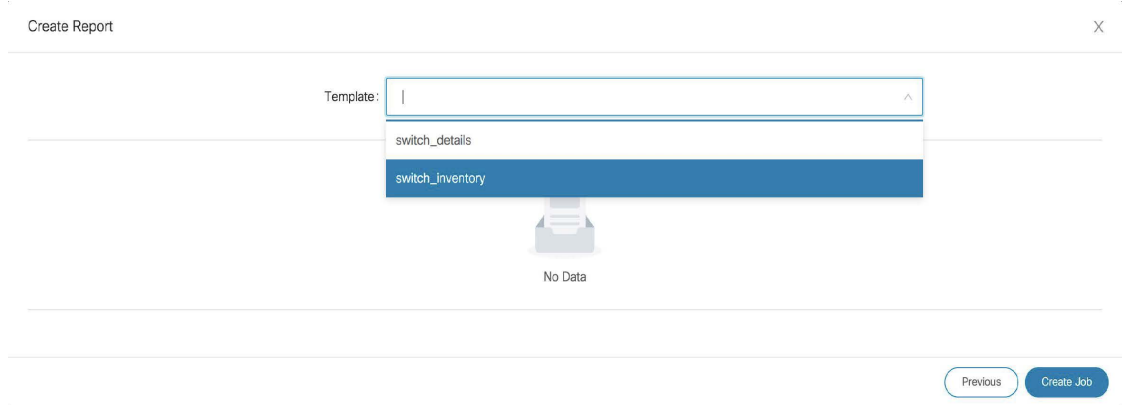
*fabric_nve_vni_counter

*fabric_resources

*sfp_report

上記のテンプレートに加えて、作成した他のテンプレートもここに表示されます。デフォルト テンプレートとカスタマイズされたテンプレートの作成の詳細については、「[テンプレート ライブラリ](#)」を参照してください。

テンプレートは、関連するタグに基づいてリストされます。[デバイス (Device)] 範囲を選択すると、デバイス タグを持つテンプレートがドロップダウン リストに表示されます。[ファブリック (Fabric)] 範囲を選択すると、ファブリック タグが付いたテンプレートがドロップダウン リストに表示されます。



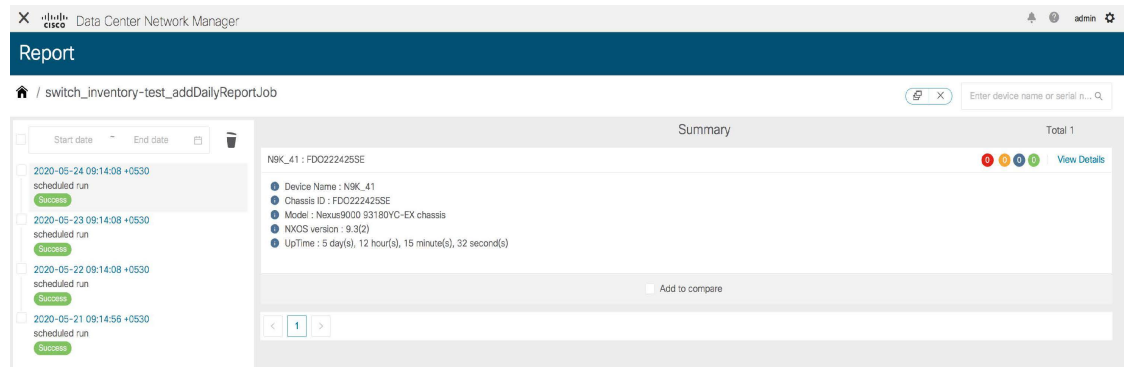
ステップ 6 [ジョブの作成 (**Create Job**)] をクリックします。ジョブ レポートが正常に作成されたことを示すポップアップが表示されます。新しく作成したジョブレポートがリストに表示されない場合は、[更新 (**Refresh**)] アイコンをクリックします。新しいレポートの[ステータス (**Status**)] 列にカーソルを合わせると、ステータスは[実行中 (**Running**)] になり、レポートが現在生成されていることを示します。レポートが正常に生成されると、ステータスは**成功**を示す緑色のチェックマークに変わります。

レポート ジョブの表示

表示されたレポート ジョブのリストからレポート タイトルをクリックして、必要な情報を表示します。

Title	User	Recurrence	Scope	Template	Status	Created At	Last Executed
sfp_test	admin	NOW	FABRIC	sfp_report	▲	2020-05-21 09:43:53 +0530	2020-05-21 09:43:55 +0530
sfp_report-test_reRunFabricScope	admin	NOW	FABRIC	sfp_report	▲	2020-05-21 09:28:11 +0530	2020-05-21 09:31:12 +0530
sfp_report-test_checkSummaryFabricScopeadmin	admin	NOW	FABRIC	sfp_report	▲	2020-05-21 09:27:11 +0530	2020-05-21 09:27:12 +0530
sfp_report-test_checkReportByIdFabricScopeadmin	admin	NOW	FABRIC	sfp_report	▲	2020-05-21 09:25:10 +0530	2020-05-21 09:25:12 +0530
sfp_report-test_addReportJobFabricScope	admin	NOW	FABRIC	sfp_report	▲	2020-05-21 09:25:08 +0530	2020-05-21 09:25:10 +0530
switch_inventory-test_reRun	admin	NOW	DEVICE	switch_inventory	✓	2020-05-21 09:10:02 +0530	2020-05-21 09:11:07 +0530
switch_inventory-test_checkSummary	admin	NOW	DEVICE	switch_inventory	✓	2020-05-21 09:09:02 +0530	2020-05-21 09:09:07 +0530
switch_inventory-test_checkReportById	admin	NOW	DEVICE	switch_inventory	✓	2020-05-21 09:08:01 +0530	2020-05-21 09:08:07 +0530
switch_inventory-test_addReportJob	admin	NOW	DEVICE	switch_inventory	✓	2020-05-21 09:07:59 +0530	2020-05-21 09:08:05 +0530
switch_inventory-test_addDailyReportJobWithFinalData	admin	DAILY	DEVICE	switch_inventory	✓	2020-05-21 09:07:56 +0530	2020-05-21 09:15:02 +0530

[レポート (**Reports**)] ウィンドウが表示されます。このウィンドウに色分けされて表示されるエラー、警告、情報、および成功メッセージの数は、レポートの詳細によって異なります。エラーは赤、警告は黄色、情報は青、成功は緑で表示されます。概要は、これらの数値の生成には考慮されません。

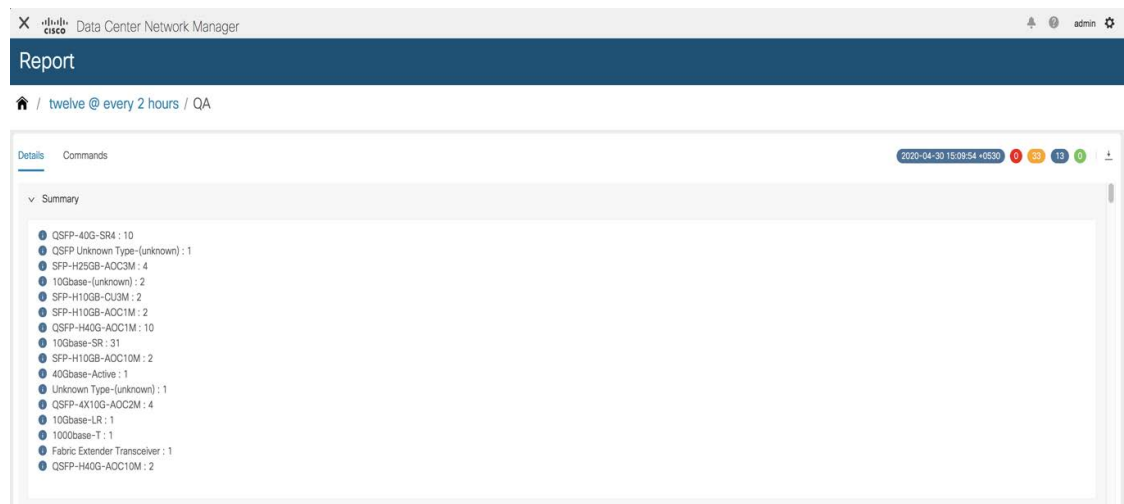


レポートは、複数のデバイスに対して生成できます。ウィンドウの左側には、レポートが生成された時刻を示すタイムラインも表示されます。このタイムラインの項目をクリックすると、その時点で生成されたレポートを表示できます。[開始日 (Start date)] と [終了日 (End date)] を選択して、特定の時間枠で生成されたレポートを表示することもできます。

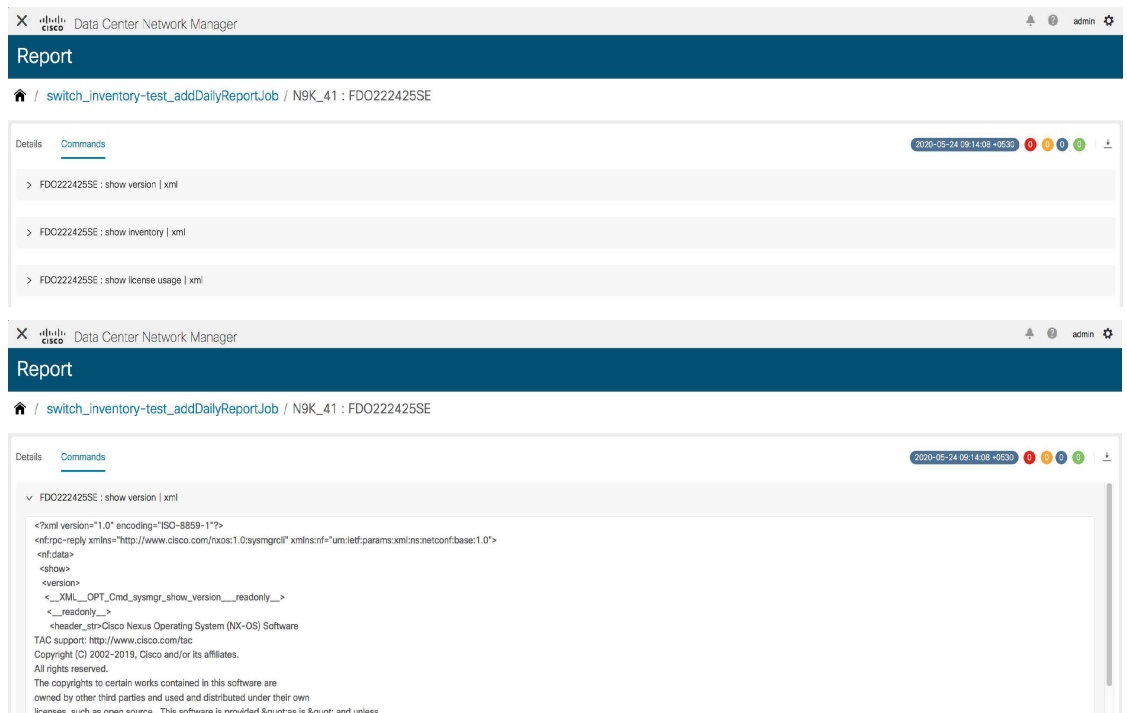
[詳細を表示 (View Details)] をクリックすると、詳細な情報が表示されます。

[詳細 (Details)] タブには、レポートテンプレートのタイプに基づいて、他の関連情報とともにレポートの概要が表示されます。

レポートの詳細は、論理的にセクションにグループ化されます。各セクションは、折りたたみ可能なウィジェットで個別に表示されます。レポートで生成されたエラー、警告、情報、および成功メッセージの数は色分けされ、ウィンドウの右上に表示されます。

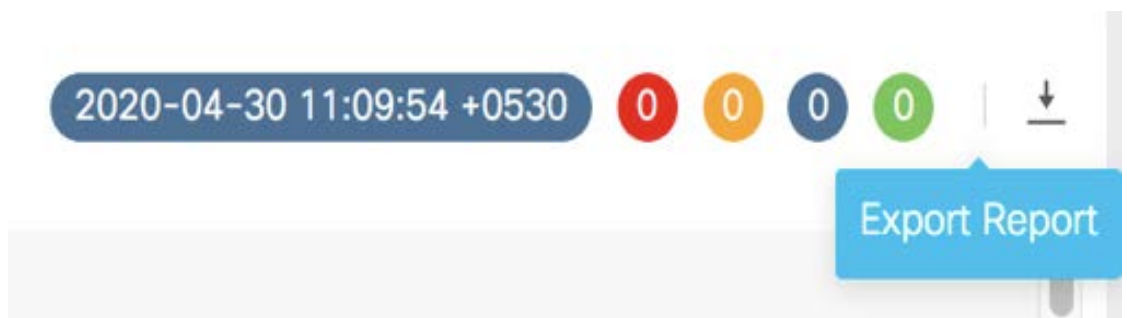


[コマンド (Commands)] タブをクリックして、レポートを生成するために実行されたコマンドを表示します。コマンドは、デバイスでコマンドを実行するために使用されるテンプレートと API に基づいて表示されます。たとえば、[switch_inventory] テンプレートでは、**show version**、**show inventory**、および **show license usage** コマンドを実行して情報を取得します。コマンドは、**show_and_store** API を使用してデバイスでコマンドを実行する場合にのみ表示されることに注意してください。



レポート情報のダウンロード

レポート情報をダウンロードするには、[詳細 (Details)] タブの [レポートのエクスポート (Export Report)] アイコンをクリックします。出力とともにコマンドをダウンロードするには、[コマンド (Commands)] タブの [レポートのエクスポート (Export Report)] アイコンをクリックします。



レポートに関する詳細情報が別のウィンドウに表示されます。

SFP Report

Summary

ERRORS	0
WARNINGS	0
SUCCESS	0
INFO	0

10Gbase-(unknown)	10
SFP-H10GB-CU3M	2
10Gbase-SR	12

Device-Level SFP count

warnings	0
title	"Device-Level SFP count"
success	1
errors	0
info	0

SFP count per device

Device	Device level SFP Count
N5648-38	13
N5596-37	11


Device Level: N5648-38

warnings	0
title	"Device Level: N5648-38"
success	1
errors	0
info	0

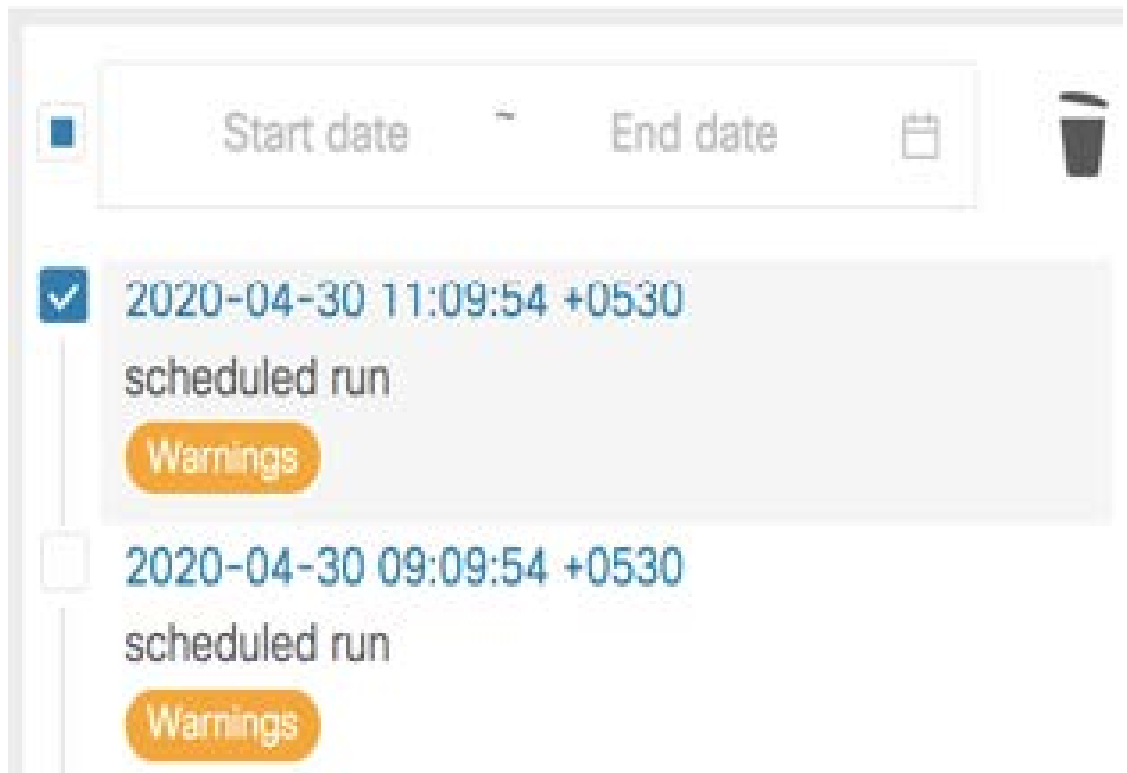
Interface SFP type

lencu	part	serial_number	interface	type	speed	cdp	device_name	name	model
2	AFBR-7IER02Z-CS1	SSI15470HJ5	Eth1/10	10Gbase-(unknown)	1000,10000	N/A	N5648-38	CISCO-AVAGO	N5K-C5548UP-SUP
N/A	SFBR-7702SDZ-CS5	SSI15470HJ5	Eth1/11	10Gbase-SR	1000,10000	N5596-37(FOX1816G0S9)@Ethernet1/11	N5648-38	CISCO-AVAGO	N5K-C5548UP-SUP
N/A	FTLX8571D3BCL-C2	SSI15470HJ5	Eth1/13	10Gbase-SR	1000,10000	N/A	N5648-38	CISCO-FINISAR	N5K-C5548UP-SUP
N/A	FTLX8571D3BCL-CS	SSI15470HJ5	Eth1/15	10Gbase-SR	1000,10000	N/A	N5648-38	CISCO-FINISAR	N5K-C5548UP-SUP
N/A	FTLX8571D3BCL-C2	SSI15470HJ5	Eth1/17	10Gbase-SR	1000,10000	N/A	N5648-38	CISCO-FINISAR	N5K-C5548UP-SUP
3	74752-9520	SSI15470HJ5	Eth1/21	SFP-H10GB-CU3M	1000,10000	N5596-37(FOX1816G0S9)@Ethernet1/21	N5648-38	CISCO-MOLEX	N5K-C5548UP-SUP

レポートの削除

レポートを削除するには、削除する必要があるレポートタイムラインでレポートを選択し、**[削除 (Delete)]**  アイコンをクリックします。

🏠 / twelve @ every 2 hours



レポートの削除の確認を求めめるポップアップ ウィンドウが表示されます。[はい (Yes)] をクリックし、レポートを削除します。

レポートの比較

同じレポート ジョブから生成された 2 つのレポートを比較できます。

レポートを比較するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** [レポート (Report)] ウィンドウで [比較するために追加 (Add to compare)] チェックボックスを選択します。比較対象として選択されたレポートの数は、ウィンドウの右上の X の横にあ

る赤い数字のアイコンで示されます。

POOL NAME	MAX ENTRIES
LOOPBACK_IP_POOL	1024
DCI subnet pool	64
TOP_DOWN_L3_DOT1Q	510
VPC_DOMAIN_ID	1000
LOOPBACK_ID	513
VPC_PEER_LINK_VLAN	1
VPC_ID	400
PORT_CHANNEL_ID	3500
FFX_ID	99

ステップ2 ウィンドウの右上にある [レポートの比較 (Compare Reports)] アイコンをクリックします。

https://10.127.117.20/compareReports

ステップ3 [レポートの比較 (Compare Reports)] ウィンドウが並べて比較されて表示されます。

The screenshot displays two side-by-side report windows for Fabric NSK and Fabric QA. Each window shows a 'Resources Summary' table with the following data:

POOL NAME	MAX ENTRIES
LOOPBACK_IP_POOL	1024
DCI subnet pool	64
TOP_DOWN_L3_DOT1Q	510
VPC_DOMAIN_ID	1000
LOOPBACK_ID	513
VPC_PEER_LINK_VLAN	1
VPC_ID	400
PORT_CHANNEL_ID	3500
FEX_ID	99

Below the summary, a 'Resource Pools' table is shown for each fabric:

POOL NAME	POOL TYPE	POOL RANGE	SUBNET M
LOOPBACK_IP_POOL	IP POOL	10.1.0.0/22	32

レポートジョブの削除

レポートジョブを削除するには、削除する必要があるレポートジョブの横にあるチェックボックスを選択し、[レポートの削除 (Delete Report)] アイコンをクリックします。

The screenshot shows a table of report jobs with the following columns: Title, User, Recurrence, Scope, Template, Status, Created At, and Last Executed. The job 'sfp_report-test_reRunFabricScope' is selected, and the 'Delete Report' icon is highlighted.

Title	User	Recurrence	Scope	Template	Status	Created At	Last Executed
sfp_test	admin	NOW	FABRIC	sfp_report	▲	2020-05-21 09:43:53 +0530	2020-05-21 09:43:55 +0530
sfp_report-test_reRunFabricScope	admin	NOW	FABRIC	sfp_report	▲	2020-05-21 09:29:11 +0530	2020-05-21 09:31:12 +0530

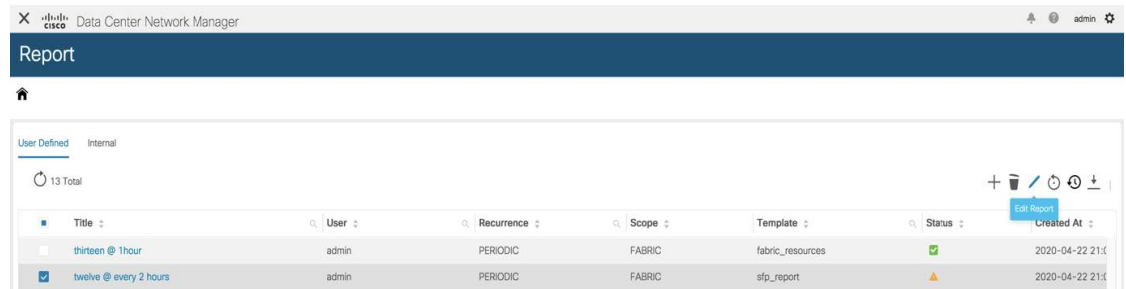
レポートジョブを削除すると、そのレポートジョブによって生成されたすべてのレポートも削除されます。

レポートジョブの編集

レポートジョブを編集するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ1 編集したレポートの隣にあるチェックボックスを選択し、[レポートの編集 (Edit Report)] アイコンをクリックします。同時に編集できるのは1つのジョブのみであることを注意してください。



ステップ2 [レポートの作成 (Create Report)] ウィンドウが表示されます。開始日時、終了日時、期間、選択したデバイスまたはファブリックを編集できます。必要なパラメータを編集したら、[次へ (Next)] をクリックします。

Create Report

Name: twelve @ every 2 hours

Recurrence: Now Once Daily Weekly Monthly Periodic Ondemand

Period: 2 Hour(s)

Start Date & Time: 2020-04-22 21:10:00

End Date & Time: 2020-04-30 12:27

Device Fabric Global

- Fabric
- NSK
- QA

Note: Date&Time are based on server time

Previous Next

ステップ3 [ジョブの更新 (Update Job)] をクリックします。

Create Report

Template: sfp_report

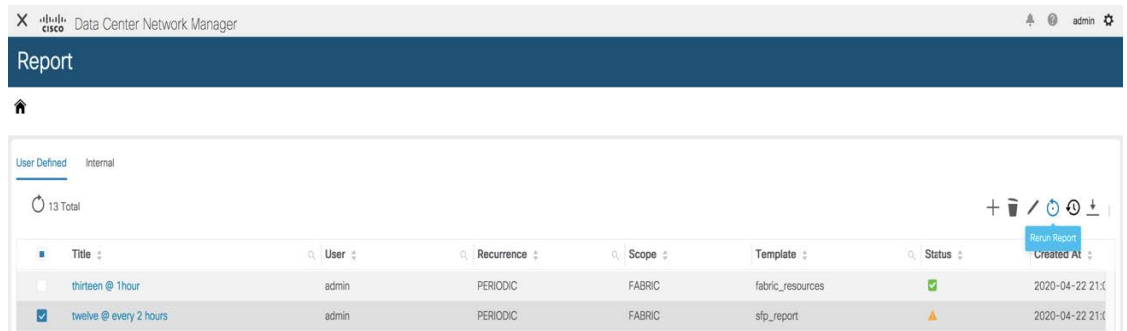
No fields to display

Previous Update Job

レポート ジョブが更新されたことを示すポップアップ ウィンドウが正常に表示されます。

レポート ジョブの再実行

[**レポート (Report)**] ウィンドウで、再度生成する必要があるレポートの横にあるチェックボックスを選択し、[**レポートの再実行 (Rerun Report)**] アイコンをクリックしてレポート ジョブを再度実行します。レポート ジョブが再実行されたことを示すポップアップ ウィンドウが正常に表示されます。

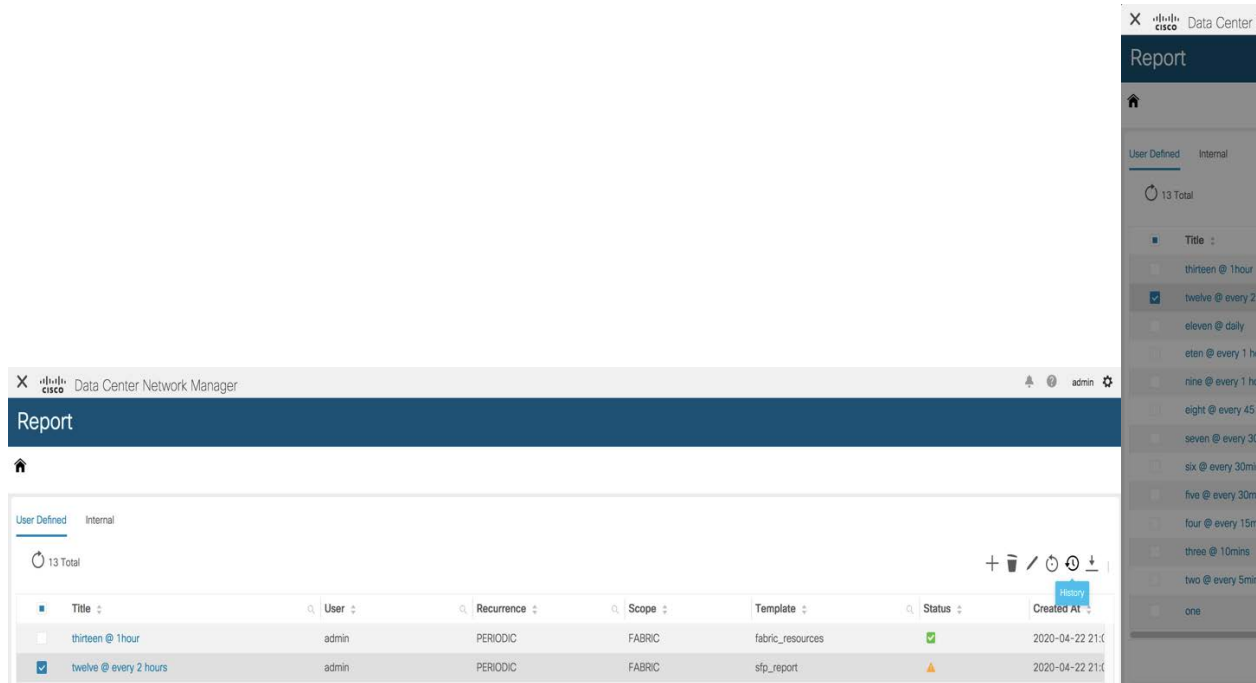


再実行オプションを使用して、スケジュールされた実行時間の前にレポートを生成できます。**[オンデマンド (Ondemand)]** ジョブの場合、[**レポートの再実行 (Rerun Report)**] アイコンをクリックし、レポートを生成する必要があります。

レポート ジョブ履歴の表示

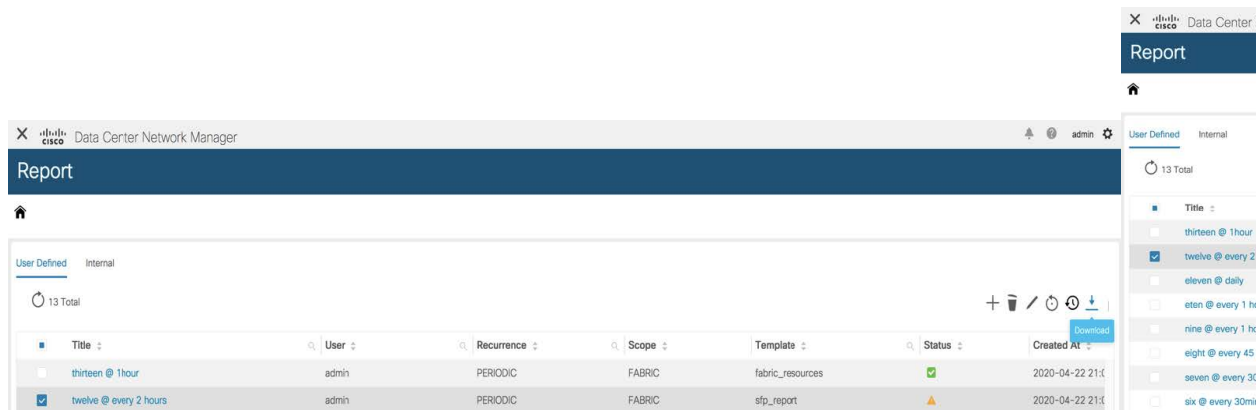
レポート ジョブの履歴を表示するには、履歴を表示する必要があるレポート ジョブの横にあるチェックボックスを選択し、[**履歴 (History)**] アイコンをクリックします。**[ジョブ履歴 (Job History)]** ウィンドウが表示されます。レポート ジョブごとに最新の 100 エントリを表示でき

ます。



レポート ジョブ情報のダウンロード

レポートジョブ情報をCSVファイルとしてダウンロードするには、**[ダウンロード (Download)]** アイコンをクリックし、CSVファイルのダウンロード先の場所を選択して、**[OK]** をクリックします。レポートジョブに関する情報を含むCSVファイルがダウンロードされます。



レポートの消去

レポートを消去すると、新しいレポート用のスペースが作成されます。レポートジョブごとに異なる繰り返し間隔を設定できるため、レポートジョブごとに個別のレポートインデックスが作成されます。したがって、特定の期間に生成されるレポートの数は、レポートジョブによって異なる場合があります。個別のレポートインデックスは、レポートを簡単に削除するのに役立ちます。各レポートインデックスには、100MBの最大サイズ制限と500の最大レポー

ト数があります。制限を超えると、古いレポートが削除され、新しいレポート用のスペースが確保されます。

どの時点でも、最大しきい値の 70% のみが保持されます。たとえば、レポート インデックスの最大サイズが 100MB であるシナリオを考えてみます。ページ時には、平均で最大 70MB のスペースを使用するレポートのみが保持されます。これにより、生成される新しいレポート用のスペースが提供されます。最大レポート数 500 のしきい値も 70% です。

- 制限としきい値のパーセンテージ値を変更するには、次の REST API を使用します。

URL : *appcenter/Cisco/preport/integrated/admin/reportconfig*

メソッド : POST

1 つ以上のしきい値属性と値を構成できます。

```
{  
<threshold attributes>: <value>  
}
```

<threshold attributes> は以下に示されています。

MAX_REPORT_SIZE : レポート インデックスの最大サイズ (KB)

MAX_USAGE_PERCENTAGE : 保持する「MAX_REPORT_SIZE」の最大割合

MAX_NUMBER_OF_REPORTS : レポートの最大数

MAX_NUMBER_OF_REPORTS_PERCENTAGE : レポートの最大パーセンテージ

保持する「MAX_NUMBER_OF_REPORTS」

MAX_HISTORY_SIZE : KB 単位の履歴の最大サイズ

MAX_HISTORY_PERCENTAGE : 「MAX_HISTORY_SIZE」の最大保持率

MAX_NUMBER_OF_HISTORY : 保持する履歴レポートの最大数

MAX_NUMBER_OF_HISTORY_PERCENTAGE : 履歴の最大パーセンテージ

保持する「MAX_NUMBER_OF_HISTORY」

<value> 属性に整数を入力します。

- *現在構成されている制限を取得するには、次の API を使用します。

URL : *appcenter/Cisco/preport/integrated/admin/reportconfig*

メソッド : GET

- 現在の使用状況の統計を取得するには、次の API を使用します。

URL : *appcenter/Cisco/preport/integrated/admin/index/stats*

メソッド : GET

- レポートは、1 日 1 回午前 12 時にページされます。ページを開始することもできます。ページを開始するには、次を使用します。

REST API

URL : *appcenter/Cisco/preport/integrated/admin/purge/report*

メソッド : POST

- レポートの実行履歴は、すべてのジョブの単一のインデックスに保存され、偶数時間にページされます。レポート実行履歴の最大インデックス制限は 1000 で、許可される最大サイズは 500MB です。これらの制限を変更するには、次の REST API を使用します。

URL : *appcenter/Cisco/preport/integrated/admin/reportconfig*

メソッド : POST

- レポート実行履歴の消去を開始するには、次の REST API を使用します。

URL : *appcenter/Cisco/preport/integrated/admin/purge/history*

メソッド : POST

- レポートとレポート実行履歴の両方のページを開始するには、次の REST API を使用します。

URL : *appcenter/Cisco/preport/integrated/admin/purge*

メソッド : POST

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。